



2024年11月28日

株式会社ブルボン  
株式会社ロッテ  
株式会社曙運輸  
全国通運株式会社  
日本貨物鉄道株式会社  
日本石油輸送株式会社

31フィートスーパーURコンテナ<sup>※1</sup>を活用したラウンドマッチング輸送<sup>※2</sup>の開始について  
～ブルボンの工場がある新潟から福岡へ、ロッテ九州工場から大阪への鉄道による往復輸送～

株式会社ブルボン（新潟県柏崎市、代表取締役社長：吉田 康、以下「ブルボン」）、株式会社ロッテ（東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：中島 英樹、以下「ロッテ」）、株式会社曙運輸（埼玉県越谷市、代表取締役：大野 祐肇、以下「曙運輸」）、全国通運株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：永田 浩一、以下「全国通運」）、日本貨物鉄道株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長兼社長執行役員：犬飼 新、以下「JR貨物」）、日本石油輸送株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 社長執行役員：原 昌一郎、以下「日本石油輸送」）は、日本石油輸送が所有する31フィートスーパーURコンテナを活用した鉄道によるラウンドマッチング輸送を2024年11月28日より開始しました。

※1：スーパーURコンテナとは、日本石油輸送が所有する真空断熱パネルを採用したコンテナです。冷蔵コンテナよりも高い断熱性能を備えているため、より一層の温度維持が必要な品物を運ぶのに最適です。

※2：ラウンドマッチング輸送とは、貨物を目的地で下ろした後、空で回送することなく適合する貨物を見つけ、出発地まで戻ることにより、往路と復路の車両の積載率を高め、ドレージコストの低減を可能とする輸送方式のことです。

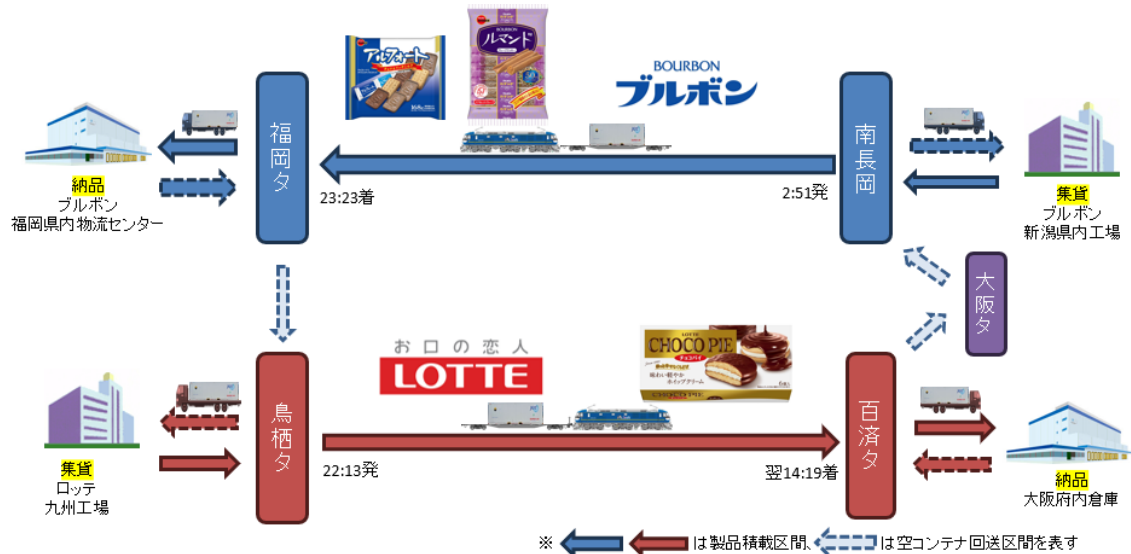
## 1. 概要

ブルボン、全国通運、JR貨物、日本石油輸送は、31フィートスーパーURコンテナを活用した鉄道モーダルシフトを、2016年7月より新潟から岡山向けで開始しました。2023年1月には福岡向けも開始し、CO2排出量の削減や、物流2024年問題の解決を見据えた持続可能な輸送体系の構築に取り組んでいます。ただ、これらはいずれも片道での輸送であり、復路の輸送がなかったことからコンテナ運用に課題を抱えていました。

今回、ブルボンの福岡県内物流センターへの納品後、同じコンテナをロッテ九州工場（福岡県）から大阪府内の倉庫向けへの輸送に活用するマッチングを行い、2024年11月28日よりブルボン、ロッテによるラウンドマッチング輸送を開始しました。

ブルボンは工場で生産した「アルフォート」「ルマンド」等の製品を福岡県内物流センターへ輸送し、ロッテ九州工場から大阪府内の倉庫へは「チョコパイ」等の製品を輸送します。同業 2 社による、物流部門でのコラボレーションを行うことにより、輸送にかかる総コストを削減できるだけでなく、労働力不足の解消等での物流効率化にも貢献できます。また、ロッテは同区間を鉄道輸送に切り替えることにより、CO2 排出量を年間 17.0 トン（削減率 80.3%）削減します。

### ラウンドマッチング輸送のスキーム



## 2. 今後について

ブルボン、ロッテ、曙運輸、全国通運、J R 貨物、日本石油輸送は、今後も物流資源の有効活用や効率的な輸送システムの構築に取り組むことにより、物流の脱炭素化や、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

### 3 1 フィートスーパーURコンテナ

